

令和7年7月

各 位

(公財) 東京都人権啓発センター

イベントのご案内

平素より弊財団の事業にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

同封いたしましたチラシのとおり、令和7年度企画展「心と体を傷つけられて亡くなった天国の子供たちのメッセージ展」及び第2回人権問題都民講座を開催いたします。

つきましては、この機会に多くの方にご参加いただけるよう、チラシの配布等、イベントの周知にご協力を賜りましたら幸いに存じます。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。どうぞよろしくお願いいたします。

お知らせ① 配送部数の見直しについて

印刷及び配送経費の削減が求められるなか、配送作業の効率化を図るために、配送部数の見直しを行いました。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

お知らせ② LINE 公式アカウントの開設について

東京都人権プラザのLINE 公式アカウントを開設しました。今後、イベント情報等、定期的に配信いたします。お友だち登録いただいた方には、来館時にクーポンのご提示でオリジナルグッズをプレゼントいたします。ぜひご登録ください。



【問い合わせ先】

(公財) 東京都人権啓発センター

〒105-0014 東京都港区芝 2-5-6 芝 256 スクエアビル 2 階

電話 03-6722-0085

普及啓発課 担当 林・玉邑・吉田

公益財団法人東京都人権啓発センター

要事前
申込

—「生きづらさ」から考える

令和7年度第2回人権問題都民講座

詳しくは裏面へ



近年、こどもの人口が減少する一方、不登校のこどもは増加しています。不登校は、特定のこどもに限られた問題ではなく、現代社会に潜む多様な「生きづらさ」や構造的課題が背景にあると指摘されています。本講座では、不登校や若者の「生きづらさ」を研究してきた専門家を迎え、「不登校を理解するとはどういうことか」「不登校への『対応』は何をゴールとしているのか」といった問いを出発点に、不登校という現象の意味や「生きづらさ」との関係、不登校をめぐる社会の価値観について理解を深める機会とします。

学校に行かないこどもたちを一方的な価値観で評価するのではなく、一人ひとりが尊重される社会のあり方を問い直しながら、こどもたちへの支援や関わり方について共に考えます。

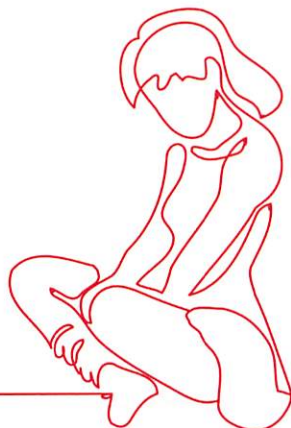


講師

貴戸 理恵

関西学院大学社会学部教授

1978年生まれ。博士(アジア研究)。2009年4月に関西学院大学社会学部着任、2023年4月より現職。現代日本社会における学校・仕事をめぐるこども・若者の「生きづらさ」を、質的調査(インタビュー)から明らかにしている。2011年から「生きづらさからの当事者研究会」コーディネーター。著書に『「生きづらさ」を聴く 不登校・ひきこもりと当事者研究のエスノグラフィ』(日本評論社)、『10代から知っておきたい あなたを丸めこむ「ずるい言葉」』(WAVE出版)などがある。



参加方法

お申込みはこちら



[https://form.run/
@lecture-2025-02](https://form.run/@lecture-2025-02)

以下のWebフォーム(QRコード)、電話のどちらかでお申込みください。

電話 03-6722-0123

電話でお申し込みの場合は、以下の内容をお知らせください。

- ①代表者名②参加人数③参加形式(会場・オンライン)④受講案内送付先(住所・メールアドレス)
- ⑤電話番号⑥障害等による必要な配慮の有無(有の場合は内容)

申込締切 会場 2025年 9月26日(金)正午
オンライン 2025年10月 1日(水)正午

※ご提供いただいた個人情報は、申込手続き以外には使用いたしません。

情報保障・託児を希望される方は、講座申込時に併せて9月19日(金)までにお申し込みください。

その他

- オンライン参加の方にはお申し込みいただいた際のEメールアドレスに、招待リンク・ミーティングID・パスコードを前日までにお送りします。
- 会場参加の方には、Eメールまたは郵送で前日までに受講案内をお送りします。

フォローアップ企画

フォローアップ・テキスト(事後学習資料)の提供

参加者が講座内容に関して事後学習を行い、より理解を深められるよう学習資料を参加者に提供します。

お問合せ

東京都人権プラザ

〒105-0014 東京都港区芝2-5-6 芝256スクエアビル1・2F
TEL 03-6722-0123 E-MAIL fukyu3102@tokyo-jinken.or.jp
URL <https://www.tokyo-hrp.jp/>



心と体を傷つけられて 亡くなった 天国の子供たちの メッセージ展

入場無料



©GENTLE HEART PROJECT

会期
会場

2025年

8月25日(月)～9月2日(火)

9:00～19:00

*初日8月25日は正午から。
最終日9月2日は16:00まで

cocobunjiプラザ 多目的スペース(国分寺市)

2025年

9月9日(火)～9月23日(火・祝)

9:30～17:30 (日曜日休館)

東京都人権プラザ1階 ロビーギャラリー(港区)

展示内容

いじめ等により心と体を傷つけられて亡くなった子供たちの写真、子供たちが社会に投げかけた言葉、家族から子供へのメッセージを集めたパネル(10数組・約50点)、来場者からのメッセージ等を展示します。

上映映像

詳しくは裏面を
ご覧ください。

本展のために事前に収録した小森美登里さん(ジェントルハートプロジェクト)と池上正樹さん(ジャーナリスト)のトークセッションを常時上映します。

主催 東京都人権プラザ(指定管理者:(公財)東京都人権啓発センター)

協力 NPO法人ジェントルハートプロジェクト、国分寺市市民生活部人権平和課

学校の新学期が始まる4月や9月は、子供の自殺が増えると言われています。

東京都人権プラザは子供も利用する施設であることから、

こうした状況を解消する働きかけを行うことを目的に、

2018年よりNPO法人ジェントルハートプロジェクトの協力を得て、

いじめ等により心と体を傷つけられて亡くなった子供たちの

メッセージ展を開催してきました。

今年度も、夏休みが終了し新学期が始まる時期に合わせてメッセージ展を開催し、

奪われた子供たちの命について思いをめぐらすとともに、子供たちの命を守っていくために、

一人ひとりが自分たちにできることを考える機会とします。

本展のために収録した
映像を会場で
常時放映します。

いじめ問題に関するトークセッション

小森美登里

ジェントルハートプロジェクト

池上正樹

ジャーナリスト／

SHIPひきこもりと共生社会を考えるネットワーク

常時放映中

一人娘をいじめによる自殺で失い、いじめ問題の解決を目指して全国で講演活動を行う遺族と、長年ひきこもり問題を取材(『ルポ「8050問題」』『ルポ ひきこもり未満』他多数)し、私たちの社会課題を当事者視点で一緒に考える団体代表によるトーク。会場に掲示する「子供たちのメッセージパネル」の解説と併せて、いじめ問題を解決するために、どうすればよいかを考えます。

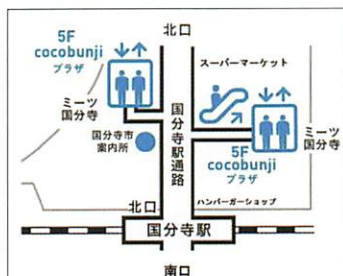
NPO法人ジェントルハートプロジェクト

いじめ問題の解決を目指して2003年3月に設立。全国各地での講演会、展示会、勉強会やコンサート等の取組を通して、子どもたちが本来持っている「やさしい心」を多くの人たちに伝えるための活動を行っています。

会場
案内

cocobunjiプラザ 多目的スペース

国分寺市本町3-1-1 cocobunjiWEST 5階



JR・西武国分寺線・
西武多摩湖線
「国分寺駅」
北口すぐ

東京都人権プラザ

港区芝2-5-6 芝256スクエアビル1・2階



都営三田線「芝公園駅」
A1出口から徒歩3分(約250m)
エレベーターはA3出口

都営浅草線・都営大江戸線「大門駅」
A3出口から徒歩9分(約700m)
エレベーターはA1出口

JR・東京モノレール「浜松町駅」
南口(金杉橋方面)から
徒歩10分(約800m)

※エレベーターの利用は改札で駅係員にお尋ねください。

東京都人権プラザ
TOKYO METROPOLITAN HUMAN RIGHTS PLAZA

お問い合わせ

東京都人権プラザ

〒105-0014 東京都港区芝2-5-6芝256スクエアビル1・2階

電話：03-6722-0123 <https://www.tokyo-hrp.jp/>

友だち募集中!

LINE
公式アカウント

